京城日報 朝刊

半島の貯蓄新目標
『十二億圓』と決定
强力な完遂運動展開

決戦國民の生活を一層引緊めて愈々戰力増强を圖るための十八年度府貯蓄目標額正式決定の第六回貯蓄奬勵委員會を五日午前十時から小磯總督臨席の下に本府第一會議室で田中委員長以下委員卅名が參集して開いた、先づ田中委員長から決戰下戰時國民生活徹底の基礎となる國民貯蓄の決戰性を强調する挨拶あつて水田主務委員の十七年貯蓄實績報告、諮問事項

一、十八年度貯蓄目標額をいくらとすべきか
二、各道府貯蓄目標額をいくらと割當るべきか
三、十八年度貯蓄奬勵方策、具體的にいかにすべきか

の三項につき答申あり、總目標を十七年度九億圓に三億圓を増加して十二億圓と決定、その各道割當は次の如し

昭和十八年度貯蓄目標額（千圓）

道	目標額	道	目標額
京畿道	三四八、〇〇〇	黄海道	三九、〇〇〇
忠淸北道	一四、〇〇〇	平安南道	六七、〇〇〇
忠淸南道	三〇、〇〇〇	平安北道	四八、〇〇〇
全羅北道	四四、〇〇〇	江原道	二九、〇〇〇
全羅南道	五四、〇〇〇	咸鏡南道	六四、〇〇〇
慶尙北道	六〇、〇〇〇	咸鏡北道	五三、〇〇〇
慶尙南道	一〇〇、〇〇〇	直接有價證券投資	二五〇、〇〇〇
		合計	一、二〇〇、〇〇〇

昨年度の目標達成
更に一般の協力要望
田中委員長挨拶

田中委員長挨拶要旨次の通り

ここに第六回貯蓄奬勵委員會を開催するに當りまして一言御挨拶申上げる、貯蓄奬勵運動に關しては戰果を揚げておるのであるが、本年は眞に乾坤一擲の決戰的段階に到達致してゐると申さねばならないのである、國家の總力を擧げて戰力増强の一點に結集……正に決戰下最重要なる國策の一つであるといはねばならない、銃後國民は前線將兵の猛闘勇戰に呼應し必勝の信念を愈々強固に致し經濟戰士として勤勞の倍加により生產を増大し以つて貯蓄源たる所得の増加を圖るは勿論、他面生活を決戰節儉の態勢に改め銃後に於ける一切の非戰時色を拂拭して只管貯蓄の増强に努め時戰分擔の責務を全うせねばならぬことは今更申すまでもない、從つて朝鮮における貯蓄奬勵運動も從來の諸方策を更に强化徹底致し國家の要請に應へなければならぬと存ずるのである

顧て昭和十七年度の貯蓄實績は一月末現在によつて七億八千百五十六萬餘圓であり、目標額九億圓に對し八六パーセントに相成つており、之に二月、三月の増加見込を加算致すときは充分目標額に達成し得るものと存ずる、本年度は旱水害に因る米の減收、鑛漁業の不振等貯蓄増加のためには相當深刻なる惡條件を伴つたが、幸ひに之を克服致し茲に先づ一應の成績を擧揚し得たことは時局に協力する一般民衆の熱意を反映したものと認められ又他面委員各位平素の御力添へに依るものと存ずるのであつて各位の御骨折に對し深甚の謝意を表する次第である

中央政府においてはさきに本年度貯蓄目標額を二百七十億圓と決定し國民に對して一段と生活の切下げを求め强力なる國民貯蓄運動の展開を期することに措置相成つてゐるのであつて本府においてもこれに呼應し强力にして實行性のある貯蓄運動を展開することに努めたいと考へるのである、各位におかれても所期の成果を擧揚する様一段と御協力を煩したいと存ずる

東條首相歸京

【東京電話】東條首相は滿洲の旅……四日午後福岡着歸國し……途中一たん……同日午後八時三十六分東京驛着列車で歸京直ちに首相官邸に入つた

心强し、共同防衛の姿
北邊の護り安泰
東條首相談を發表

【福岡電話】東條首相は滿洲國皇帝陛下の御機嫌を奉伺し同國の發展躍進に對し祝意を表するとともに滿洲國首腦部と親しく懇談を遂げ、併せて現地諸機關の狀況視察ならびに慰問のため急遽卅一日東京を出發、滿洲國に赴き四日午後四時無事大任を果し京城より福岡着、同夜は市内松屋旅館に一泊したが、次の如き首相談を發表した

◇

私はかねがね滿洲國を訪問し皇帝陛下の御機嫌を奉伺し同國の過去十年間における飛躍的發展を祝福し、且つ今次大東亞戰爭以來同國が寄せられつゝある絶大なる協力に對し謝意を表するとともに親しく滿洲國政府首腦と懇談し併せて現地諸機關の狀況を視察その勞を犒ひたいと熱望してをつたので、今回その念願を果すことが出來ましたことは眞に欣快とするところであります、今般特に滿洲國皇帝に拜謁仰付けられ有難き御言葉を賜はり、且つ建國廟に參拜を致すことが出來たのは無上の光榮に存ずる次第であります、滿洲國は建國當初より日滿一德一心不可分の國防國家として生れたのでありますが、その政治、經濟、交通、文化などあらゆる部面における十年間の躍進は實に世界の驚異であり、比類を見ないものである、しかも帝國が米英を相手に國家の興廢を賭して起つや、骨肉の滿洲國はいよいよその總力を結集して帝國に協力するの決意を新たにし、爾來北邊の護りをいやが上にも安泰にするとともに生產力を飛躍的に増强せしめて、帝國の戰爭遂行に直接大いに貢獻致してをるのであります

すなはち滿洲國は日滿共同防衛の本義に則り各種施設をあげて防衛の强化に努めるとともに同國軍は日夜訓練と警備とに必死の努力を致してをるのでありま す、また近年の物資動員に關しては鐵鋼その他の鑛物資源につき劃期的協力を寄せられ、また食糧に就ても莫大なる量を帝國及び中華民國へ供出してゐる狀況であります、私はこれが貧相……

……に觸れ大東亞戰爭の遂行において滿洲國の帝國に對する興の如何に大なるかに感深きものがあつたのであ……また北邊鎭護の責任を擔ふる關東軍はじめ現地日本人はよく困苦と闘ひ日夜訓練を怠らず、且つ滿洲國側と相協力し共同目的達成につゝあるは眞に感謝に堪へないとともに大いに意を强うした次第であります

私はさきに中華民國を訪問……が帝國とあくまで同生共死……新中國の建設と大東亞戰爭……力とに挺身せんとする決意……の施設着々としてその緒につゝある現狀を目擊しま……

知事會議けふ開幕
決戰段階へ決意闡明

決戰十八年度初頭の定例知事會議は六日から七、八、九の四日間に亘り小磯總督、田中政務總監、各局長、關係課長、部外からは朝鮮軍井原參謀長、大西鎭海警備府參謀長、内務省竹内管理局長、滿洲國、關東局、總力聯盟、朝鮮馬事會長等臨席して開催するが、小磯總理下三回目、今年度最初の會議である、本會議は小磯總督が年頭御用始に當り小磯總理の具體方策として闡明した

一、錬成修養の徹底的實踐
二、生產戰力の決勝的増强
三、庶政勤務の劃期的刷新

なる三大政綱の溌剌たる實踐展開を期せんとする重要性を有する會議である、即ち今や大東亞戰爭は是が非でも勝ち抜かねばならぬ決戰段階に突入してゐるので、小磯總督としては當然その三大政綱をこの地方長官會議を通じて强力且つ圓滑に實踐せんことを期してゐるわけで、小磯總理の明確化と三大政綱の强力實踐を二大重點眼目とする決戰會議で兵站基地朝鮮の使命に鑑みその成果は期待されてゐる

四日間の日程

會議の日程は次の如くである

第一日の六日はまづ朝鮮神宮に參拜の後午前九時半開會劈頭三大實踐政綱に關する總督訓示があり次いで總監訓示において小磯總理の明確化を强調敷衍し、三大政綱につき各道が現に採りつゝある施策並に將來採らんとする施策の諮問事項の答申に入る

第二日目七日は午前中朝鮮軍井原參謀長、鎭海警備府六西參謀長の軍事講演、午後一時から第一日に引續き諮問答申をなす、三日目八日（大詔奉戴日）午前九時本府の詔書奉讀式及び行事に參列、十時日程に入り諮問答申をつゞけ午前中にこれを完了する、午後一時から安岡正篤氏の講演、三時から提出意見の處理に入る、同夜總監招宴、終つて龍山官邸に留朝九時まで一同錬成、四日目九日は午前九時半開會前日に引續き提出意見の處理をなし會議日程を午前で完了、東側臨場における總督觀兵馬術に參加する

〇〇機銃隊の活躍
南太平洋にて（三枝海軍報道班員撮影、海軍省許可濟第一〇一號）＝電送

荒鷲、重慶を猛襲
數ケ月振り 飛行場等に巨彈

【リスボン四日同盟】ビービーシー放送は四日夜次の通り放送した―日本航空隊は三日數ケ月振りで重慶を爆擊、爆彈は重慶の市街及び飛行場に落下した

【上海四日同盟】重慶からのロイター電によれば日本航空部隊は三日重慶を空襲、高性能爆彈並に焼夷彈を投下したと傳へられる

麗水を連續爆擊

【廣東四日同盟】わが航空部隊の精鋭は最近連日の如く敵航空基地に對し熾烈なる攻擊をつゞけつゝあるが、重慶來電によれば日本航空部隊は一日大編隊をもつて浙江省南部の敵要衝麗水を急襲し多數の爆彈、燒夷彈を投下した

【廣東五日同盟】重慶來電によれ……

猛獸棲む密林突破
あゝ森嚴、ヒマラヤ
印緬北部國境從軍記

【北部印緬國境〇〇四日同盟】わが陸の精鋭〇〇部隊は二月中旬印緬國境附近において一齊に作戰行動を開始し、久しく同地區に蠢動中の英印、重慶兩軍に對して鐵槌を下すとともに敵の據點をつぎつぎと攻略、あらゆる惡條件を克服怒濤の如き進擊をつゞけ敵の頑强なる抵抗を破碎しつゝ着々その戰果を擴大した、記者は今次作戰に從軍を許され世界の秘境といはれるフーコン地帶を進擊、千古斧鉞を入れざるジャングルの中にあつて戰ふ皇軍の敢闘ぶりを具さに見聞するを得た

蒼茫たる天空に細々と聳える標高二千メートルを越えるクモン山脈が北南に走り、北方に微くぼどはつきりと印緬國境の山パトカイ山脈が大きく目に映り、チンドウイン河から朝霧が濛々と立ち上る、びつくりする位深い密林が無限につゞき人跡未踏のジャングルに慓悍な猛虎の咆哮が聞えて來る

南方〇〇より以北〇〇へ〇道を行けば、やがてフーコン地帶への大ジャングルが無氣味な靜けさの中にわれわれを迎へた、なんといふ深い密林だらう、進むにつれて未だに經驗したことのない物凄いジャングルがひしひしと押寄せ波頭のやうに無限につゞく、何か山の靈氣に觸れたやうな

神祕 的な幻想にわれわれの胸が躍へる、だが現實に歸るとこの大ジャングル内で今激しい戰爭が行はれてゐるのだ、カチン族ハツプ族など未開の蠻族の住むこのジャングルの中にはただ一本の道が羊腸と消えるが如く細々とつ……

われはよく象や虎、豹、孔雀などを食べますよ」といつてゐる人里離れた地方だけに駐屯する兵隊達はしばしば野獸狩りや虎狩りをする『豚より虎の肉の方がうまいですよ』と兵隊さんは笑ふ、兵隊さんには食べることが何よりの樂しみなのだ、步哨に立つ兵隊さんが暗夜十間半もある大虎に會つた、銃劍をつきつけ暫く睨み合つてゐると、虎は敵はぬと見たかさつさと退却した、敵より苦手ですと步哨が苦笑してゐた

また偵察斥候に出てもジャングルの中に足を踏み入れた瞬間大きな穴の中に落ち込んだ、穴の中にどうも……

獨、土新通商協定に調印

【ベルリン特電二日發】アンカラ電報によればドイツ通商代表クロジーユス博士はトルコ外務當局との間に通商協定締結に關する交渉を進めてゐたが、兩者の見解一致しアンカラに於て獨、土新通商協定の調印を了した

即ち協定は三月末日を以て期限滿了となるべきものであつたが新協定により物資交換項の効力は一九四三年末まで延期された

右協定の内容は、トルコが一千噸のバターを供給するに對し、ドイツは二千三百噸餘りの砂糖をトルコに送るものである

芳澤大使歸任

【東京電話】芳澤特派大使は、さきに參邸後の中國事情を視察、一昨日朝……

◇田中重朗氏（本府……）六日朝……

社說
誤れる朝鮮認識論

今次の第八十一議會ほど朝鮮の眞の姿が認識された議會はなからう。それは半島施政の結實たる徵兵制度や義務教育制度に關する諸種の提出豫案を中心としての半島再認識であつたが、この議會における朝鮮關係の質疑應答を通じて、内地民衆までがどのくらゐ朝鮮を見直したかもしれぬといふことを考へる時に、我々朝鮮に在るものにとつて、それは全く大きな收穫であつたといはざるを得ない。しかし一面に於いて、今ごろ議會に於いてすらかゝる朝鮮に對する質問が出たといふこと自體、内地一般の認識不足が依然として相當に存在するといふことを物語るものでもある。

一體この朝鮮に對して認識がないといふことは文字通り朝鮮の眞相を知らぬといふことゝ、誤れる認識をもつてゐるといふことの二つの場合があるわけで、あるが、我々の恐れるのはその後者の場合の誤れる認識である勿論この場合にも惡意のものもあれば善意のものもあるわけであるが、この何れの場合にしてもその誤れる認識が發生する根據は惡質の宣傳にあるやうである。而もその惡質の宣傳は何處から發生するかといふと、その多くは朝鮮在住者の内地における言動の不用意さに基因してゐる。議會から歸任した田中政務總監も「朝鮮より東上する官民の言動は殊に愼重にする要がある」とこの點を指摘して、官民の戒心を要請してゐることは注目に價する。

要するにかゝる惡質の朝鮮認識論が出るといふことは半島の飛躍的發展のために大きな支障を來すこと勿論である以上、かかる誤れる認識論の是正、或は拂拭は我々朝鮮に在るものに課せられた大きな責務でなければならない。我々はいまだにかゝる朝鮮認識論を强調しなければならぬことを悲しむものであるが徵兵制と義務教育制の實施を控へた今日、特にこのことの如何に重大な影響をもつものであるかを考へるならば、この際我々は進んで何等かの形で正當なる朝鮮認識を要請する方途を考へねばならぬと思ふのである。

春の空を護れ

戰爭攻勢といふ言葉は味方の場合も勿論適用するが、敵の場合も亦適用することを忘れてはならぬ。櫻花の漸く綻びんとして、四月十八日の帝都空襲一周年が近づいて來た。所謂我決戰の年がまた敵にとつて決戰の年として迫つて來たのである。既に敵の空よりする攻勢は三月に入つてからの優勢は大本營發表によつてもわかるやうに或はアリューシャン列島或はソロモン水域に開始されたと見るべきであらう。もとより北洋に我が堅固たる護りあれば南海には金剛不壞の我が陣營がある。敵機何ぞ恐れんやではあるが、最惡の場合を豫想して空の構へは十二分にして置く……

軍司令官、師團長參内

【東京電話】宮内府布告　皇帝陛下には四月六日御召軍司令官々邸に臨御あらせられる旨仰出された

……一同は御殊遇のほどに感激しつゝ同一時過ぎ恐懼宮中を退出した

滿洲國皇帝陛下

雲南敵陣蹂躪

前年より三億圓增
貯蓄實踐に邁進せよ
水田主務委員談

決戰下本年度の半島貯蓄增强運動に關しては、四日正午委員會終了後正式に十八年度貯蓄總目標を十二億圓と決定、更に各道別割當額及び決戰國民生活を規定した十八年度國民貯蓄增强方策要綱を別項の通り發表、水田委員から委員會經過及び決定せる趣旨を說明し二千四百萬半島民衆の新たなる決戰生活確立と徹底實踐を通じた貯蓄增强運動協力を要請した、水田主務委員談要旨左の通り

貯蓄目標は十七年度の九億圓に比して、三億圓すなはち三三パーセント三を增加し、十二億圓と正式に決定した、本年は全國の國民消費を十七年度の百五十億圓から百卅億圓へ約十三パーセント切下げることとなつてをり、これに十八年度の鮮內資金撒布額は十七年度廿九億圓の一六パーセントすなはち四億圓を增加し卅三億圓となる見込であること、また十七年度貯蓄實績が計數的に九億五千乃至八千萬圓となる推定である等の事情を勘案し、かく決定したものである、特にこれに國民生活の決戰體制確立を含めたことは十分に强調されねばならない點であり朝鮮の實情からいへば、生活を切り下げ得ない階級が相當あるのであるから普通以上の民衆は二〇パーセント三〇パーセントと思切つた切下げを是非とも實行して貰ひたいことである、これは遊興稅、物品稅、入場稅、酒、煙草等の租稅、專賣益金が最早今日に於いては增收を目的とせずして消費の大節減、極端にいへば收入が零となるのを目的としてゐることと思ひ合せて頂きたいのである、各道割當は十七年度九億圓の內、二億圓を有價證券投資と想定し、七億圓を割當たが、十八年度は有價證券投資額を二億五千萬圓と想定することに決定、九億五千萬圓を道勢や十七年度割當額貯蓄實績等から勘案した上割當た、總額として十七年度は平均一人卅八圓の貯蓄額に止つたが十八年度は五十圓となり、半島の國民所得は卅五億圓から四十億圓に增加したのであるが、その生活は平均十三パーセント以上の切下げを要することとなつたのである、これがためには戰時生活の徹底決戰生活の確立を是非とも實踐しなければならないのであり、その方策としては貯蓄組合の擴充强化、國債、公債券の隣保消化を徹底せしめ、負稅點以下の所得階層まで一般的にこれが滲透に努める積りである

國民貯蓄增强要綱

大東亞戰爭は愈々決勝的段階に入り今や一億國民は鐵石の決意を以てその總力を戰力增强の一點に結集し戰爭完遂に邁進しつゝあり而して本年度において必要なる巨額の戰費並に生産力擴充資金を調達すると共に一般購買力の吸收を圖り物價の騰貴を抑制し戰時財政經濟の運營を確保するは正に決戰下における最重要國策の一にして國民貯蓄增强の緊切なること今日より大なるはなし、半島二千四百萬民衆は、この際現下世界の諸情勢を正視し國體の本義に透徹し日本的勤勞精神の發揚に依り生産の飛躍的增大に努め國民所得の增加を圖る一面更に創意と工夫とを凝し貯蓄の消費生活の切下を斷行し資に決戰即應の態勢を整へ以て貯蓄の實踐に邁進し銃後職場に於る經濟戰士の責務を全うせざる可からず、仍つて昭和十八年度に於ては概ね左記各項を基調とし夫々地方の實情に即應せる具體的方策を樹…

未だ一部において戰局の決勝的現段階に對する認識全からざるものある實情に鑑み此の際銃後も亦決戰場なりとの近代戰の實態を普く徹せしめ國民總力聯盟、婦人團體其の他各種團體と緊密なる連絡を保ち簡素にして明朗なる決戰生活態勢の確立に努め國民貯蓄增强の素地を養ひ特に左記事項を强調すること

(一) 一國の戰爭經濟力の源泉は其の生産と國民消費との差額に在るものなるを以て物的戰力の增强には一面勤勞の倍加に依り生産の增大を圖ると共に他面徹底的なる消費を斷行するの要あることを理解徹底せしむること

(二) 昭和十八年度我國全體の國民所得は相當の增加を見込まるるに拘らず其の中國民消費資金に充てらるべきものは百三十億圓にして前年度百五十億圓に比し一割三分の減縮を要請せられ居り戰力增强の爲に民需物資の消費節約は其の要益々加はれることを强調し時局の認識に依り收入の增加せる向は勿論然らざる向に於ても此の際生活の徹底的切下げを行ひ從來に於けるが如く生活の餘剩を貯蓄するが如き消極的態度より進んで一定の…

…に透徹せしめ國民の愛國心に愬ふる要あると同時に他面一定限度の生活必需物資の配給確保を圓滑適正ならしむ等他の諸政策との綜合調整に留意し關係機關の積極的協力を促進すること

(四) 各種天引貯金、買物貯蓄、遊興貯蓄の實行を一層强化普遍的ならしめ消費節約の强化に資すること

第二、個別目標額の適正化

道、府、邑、面以下各個人に至る迄個別目標額を設定すると共に各地、各種の金融機關別貯蓄目標額を夫々樹立し其の實績を速かに捕捉し隨時之に督勵を加ふることは計畫的國民貯蓄增成上極めて肝要なる處其の目標額にして適實ならず或は他と著しく均衡を得ざるときは其の實效を期し難きに付租稅公課の負擔狀況等をも勘案の上團體又は個人の貯蓄能力に即應せる適正なる個別目標額の設定に努め尚左記事項に留意すること

(一) 道、府、邑、面に於ては其の割當てられたる目標額の內少くも一割以上を各地方の實情に應じ貯蓄組合の目標額として指示しその他の額を一般貯蓄として各個人其の他に對し其の能力に適應したる標準に依り割當て以て貯蓄の實行を計畫的ならしむる樣指導すること

(二) 貯蓄實績の把握に就ては常に正確を期することに留意し一年を數期に分ちて反省檢討し次期に於ける指導の資料たらしむる樣措置すること

第三、國民貯蓄組合の整備强化

貯蓄實踐の中核體として國民貯蓄組合の健全なる發達を圖るは刻下の要務なるを以て各方面に於ける指導者の協力を得て組織未濟及び加入漏れの絕無を期し計畫的指導を加へ特に左記事項に付留意すること

(一) 各種國民貯蓄組合は一應の整備を了せりと雖も其の機能發揮に就ては尙檢討を要するものある實情に鑑み努めて檢査を勵行し之が維持育成を圖ると共に其の機能促進に特段の指導督勵を加ふること

(二) 各種組合に付その貯蓄率の再檢討を行ひ職域組合の貯蓄は少くとも本府所定の標準率を下らざる程度に實行せしむるやう措置し、なほ高額所得者貯蓄組合等新規なる貯蓄組合の育成を圖り組合貯蓄の增强を企圖すること

第四、國債債券隣保消化の促進

時局の進展に伴ひ國債債券の發行額は益々增高を來す處之が消化の良否は直ちに戰時財政の運營に至大の影響を及ぼすものなること及戰時下國債こそ最も堅實且光榮ある財産なることを周知徹底せしめ特に左記事項に留意すること

(一) 公債の消化は年間を通じ計畫的且組織的ならしめ個別的に各資力に適應せる配分を爲し以て其の完全消化に努むること

(二) 國債、債券の配分は府、邑、面以下における個別貯蓄目標額と照應し可及的國民總力聯盟、愛國班の組織を通じ適正なる配分をなし全戶普及を目途として各戶の能力に應じたる消化計畫を樹立する等國債、債券消化の一層の普遍化を圖ること

第五、貯蓄運動推進力の釀成

貯蓄獎勵運動推進の中核體と爲るべき第一線指導者の育成は現下最喫緊の要務たる實情に鑑み官署に於ける指導者の錬成に努むべきは勿論尙進んで民間に於ける民衆指導の實行力ある模範人物を貯蓄實行の指導員として活用し又模範貯蓄地區、若は模範貯蓄組合を設置し之に特別指導を加ふる等の措置を講じ貯蓄增强の推進力釀成に努むること

第六、金融機關の活動强化

(一) 朝鮮金融團と緊密なる連絡を採り各種金融機關の積極的活動を一層促進すること

(二) 各種金融機關は本年度貯蓄增加目標額の達成に付凡ゆる方策を講じ特に退藏現金の預貯金化促進に努むると共に所在金融機關相互の連絡協調に遺憾なきを期すること

(三) 貯蓄方法に付ては興味ある新規貯蓄方法の創設に依る新分野の開拓又は新なる貯蓄組合の設置等常に創意と工夫を凝し一般民衆をして興味を以てこれに協力せしむるやう斬新なる貯蓄方法の考究に努むること

金融統制會の改組
普銀兼營實施で具體化

【東京電話】普銀兼營法の實施にともない金融統制會の現機構にも再檢討を加へられることは當然の成行として早晩これが具體化するものと觀測されてゐる、すなはち普通銀行による貯蓄銀行業務または信託業務の兼營を認めることはすでに業態別統制會の存在する現機構の否定とみられ、かくして金融機關の分野が單純化される結果業態別統制會の組織について再檢討されることは必至とみられてゐる

三和鐵山 東拓傘下へ
劃期的增産計畫

江原道三陟郡北三、末老、下長三ケ面の廣汎にわたる鑛區を有する三和鑛山は昨年九月東拓よりの出資により從來の個人經營を脫して資本金五百萬圓の東拓傍系會社として劃期的增産計畫が樹立され東拓の積極的援助を受くるほかあらゆる點に特別の助長が講ぜられるに至つたので近く是川銀藏氏以下重役陣の顏觸れを正式に決定、發起人總會を開催することになつた、なほ鑛石は北坪驛から三陟鐵道を利用墨湖港に搬出されることになつてゐる

燐鑛石價格 問題解決
尾崎燐鑛專務談

燐鑛石の價格問題につき三月中旬來中央關係方面と折衝中であつた朝鮮燐鑛尾崎專務は三日歸任次の如く語つた

色々なデマもあつて延び〳〵となつたが、大體會社の希望通りの價格が決定した、未だ正式通知前なので數字的には公表出來ないが…價格は本年一…ることも諒…今後の開發…

陸運の使命達成
近く日滿支交通懇談會開催

【東京電話】第二回日、滿、支鐵道資材懇談會は廿六日から廿八日まで三日間鐵道省で開催、鐵道省、朝鮮總督府鐵道局、滿…の二國目を中心に懇談をなし、決戰下陸運に課せられた重大使命の完遂を期することゝなつた、議題…

▲第二日及び第三日(廿七、八日)
一、交通資材の需給及び調達の現況並に將來の豫想、併せて交通資材の確保に關する施策の樹立及びその實施(とくに戰時陸運非常體制確立に關する所要資材について)
一、交通資材の…施方策と所要交通資材の確保に關する件

勞務者訓練所長決定
勝尾信彥少將

鐵鋼增産への勞務充足として、鐵鋼統制會朝鮮支部では既報の如く黃海道兼二浦邑外棠山里に經費百六十萬圓を以て勞務者訓練所を新設することゝなつたが、これが所長は前朝鮮軍報道部長勝尾信彥少將に決定した、勝尾所長は近く來城、訓練所運營、錬成方法、陣容その他につき支部と打合せを行ふ豫定であるが、開所は五月下旬となる見込み【寫眞＝勝尾少將】

朝鮮石炭會社
十月初營業開始

懸案の朝鮮石炭會社の創立は今議會において豫算の協贊を得たので目下制令案の立案中であるが、遲くも十月初旬ごろまでには營業を開始し得るやう準備を進めることゝなつた、新會社は在來の石炭聯合會を改組强化して政府配當保證の特殊國策會社とするもので資本金は一千萬圓であるが、第一回拂込は二百五十萬圓であるが、昭和廿二年ごろまでに全額徵收のうへ、年間約八百萬圓の補助金が交付される見込みである

主たる事業は鮮內産炭の一手買取りを行ひこれが配給と價格の平均化を行ふにあるが、そのほか中小炭鑛に對する資金の融通、選炭場、鐵道引込線の建設などの附帶事業をも行ふのでその權能は內地の石炭販賣會社より遙かに强力である、株式總數廿萬株を鮮內石炭業者、輸出入業者金融機關(鮮銀、殖銀、東拓)に三分の一づつ割當る豫定で一ケ年の取扱高は二億五千萬圓を突破するものとみられ、從つてこれが首腦部の人選は注目されてゐる

產業別調查會の設置
政調の機構刷新

【東京電話】翼政會の改組とともに政務調查會は機構刷新をはかることゝなり目下鋭意檢討中であるが、大體において政調內に各産業別調查部を設置し常時各産業指導團體と提携のうへ民意を織込んだ産業政策意見書を作成のうへ政府に權威ある獻策をなす機構であるなほこの政調改組を契機として山崎會長は勇退、翼贊會政調會長に專心し一翼政常任總務として政治力發揮に寄與することゝ內定してゐる、これにより性格の異なる翼政の政務調查を一人で統括する矛盾が是正されることゝなるので各方面より今後の成行を注目されてゐる

全北山林會
豫算決る

【全州電話】財團法人全北道山林會の十八年度の豫算は四日の評議員會で總額三百五十七萬一千六百三十圓と決定した、これを前年度に比すれば百十三萬六千六百九十三圓の激增を示してゐるが、これは決戰下造船用材の積極的供出ならびに…源の增强確保に當盛られてゐる內容左のごとし▲林産加工々場完備▲副産物製炭事業の實…脂の增産▲森…食用林産物採…獎▲新炭增産…造成

本社寄託獻金
—三、四、五日扱—

國防獻金

【陸軍】十圓五十錢江原道寧越郡分德公立國民學校學藝補講習

【海軍】十二圓五十七錢平北宣川南山國民學校松村茂▲十圓京城府舟橋町三一五松江邦次郎▲十圓京城府舟橋町三一五牟田三郎▲六圓一錢江原道寧越郡分德公立國民學校學藝補講習▲一圓十四錢江原道寧越郡分德公立國民學校月山光子▲十七錢江原道寧越郡分德公立國民學校義本正子▲四十五錢江原道寧越郡分德公立國民學校義本麗烈

恤兵金

二圓二十錢京城芳山公立國民學校義本正子▲二圓二十錢京城芳山公立國民學校金山朱順▲…民學校金山今順

累計【國防獻金】八十八萬千三百七十二圓二錢【恤兵金】二十三萬千五十八圓九十八錢

總合計百十一萬四千五百三十一圓

勝益十一點京畿公立高等女學校 同窗器十點府內青葉町三丁目七本川一夫

株式市況（五日後場）

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新輕金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 二・四六分

東株短期

銘柄	大引	高値	安値
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 二・四〇分

戰力基地の完成へ
國府淸鄕工作の成果

淸鄕の新理念

…のもとに九月から上海南部の南進北境、擊蹈區、十月一日から更に太湖東南方第二期地區即ち杭州灣北岸新倉、硤石を連ねる線以東、海南線以南上海市西境に隔離される金山以下七區百六十萬の人口を擁する杭州灣北岸一帶の大地域に擴大され、新たに浙江省北部地帶に初の淸鄕の楔を打込んだ、この地帶は敵第三戰區と通じ中共軍の跳梁最も熾烈を極めたが昨年五月の斷髓作戰によつて連絡を斷たれて以來敵勢力の一部は西方に遁走し工作が開始されるや僅か二ケ月にして明朗健全な樂境を現出した、かくて一昨年七月蘇州を中心に開始された淸鄕工作は一年半にして南は杭州灣岸より北は揚子江岸に至る江南三角地帶の全域に擴大されて國府建國の基礎はここに全く確立し、歷史的參戰を契機として淸鄕第三段階を迎へた

而して本年度の計畫としては蘇、浙、皖三省の重要地域を指定し既に去る二月一日より浙東餘姚、鹽場地區に開始され引き續き三月一日より蘇州第四期『常熟縣南半無錫縣の一部』九百平方キロの地域に展開されたがこれと同時に江北、江南の

經濟動脈を扼

する鎭江を軸心として揚中、丹陽、金壇包容の各縣を包含する二千百平方キロの地域に擴大され過去二年の經驗を基礎として異常な熱意と決意の下に潑剌たる第一步が踏み出された、今次工作に當つて注目されるのは國府が自力で淸鄕諸工作を强力に推進し東亞共榮圈の一翼としての使命を果すべき意欲に溢れてゐることで、特に鎭江地區は工作地區として最も南京に接近してゐるので、これが工作成果は極めて重要視されてゐるが國府首腦の熱意は並々ならぬものがあり、參戰第一年を飾るに相應しい成果を擧げるものと期待されてゐるかくて一昨年七月國府强化の方策として採用された淸鄕工作は今や綜合戰力の培養基地として淸鄕二年の輝かしい成果を謳歌しつつ國府の前途に一大光明を投げかけてゐる

隨想錄

東洋人が箸で物を食ふのは、鳥の嘴から來たものであり、西洋人がナイフとホークを使ふのは、猛獸が爪をもつて物を裂くのから來てゐる▲鳥は穀物と菜の如きものしか食はないから、箸を使ふ東洋人はその通り穀物を常食とし、猛獸は肉食であるから、ホークを使ふ西洋人は肉がないと瘦せるやうに云ふ▲米英の俘虜が『肉を食はせて貰ひたい』と要求するのを、我々としては、〝何を贅澤な、お客に招待したのではないぞ〟と思ふが、猛獸共の身にとつて肉をふんだんに食へぬのは苦痛であらう▲たゞ、日本人が肉類を欲しがり、その配給を待ちかねるのは、大變な錯誤であると云はねばならない。肉類や鷄卵を榮養食だとする考へはいつから持ちはじめたか知らぬがこれは是正したい▲同じ動物のうちでも、非常に脂肪分の多い牛、豚など、何を食べてあんなに肥つてゐるかと云へば、彼等は決して小兎などを食べてゐるのではない、穀物とか藁とか草とかを食べてゐるだけだ▲牛馬や豚などが、さういふものを食べて、あの通りに肥つてゐるのを思へば、東洋人であり箸を使ふ民族である我々が、肉食したがるのはをかしいと氣がつくであらう▲人間の役に立つ牛や馬を殺して食ふ必要はないのと還ふかと、西洋人に說いてもわかるまいが、日本人にはわかると思ふ。わかつたら、戰爭のさなかに肉類の配給を待ちかねるやうな物の考へ方を訂正するがいゝ▲箸を使ふ人間が勝つか、ホークを使ふ人間が勝つかは、神に近い民族が地球を主宰するか、猛獸が主宰するかの岐れ道でもある。さう思つて牛馬を殺さないで役に立てたい。

文化　映畫と農業(1)
佐野美好

私は嘗つて一養蠶指導員として內地養蠶業の最前線に立つた經驗を有つ。尤も時代は昭和七年より同九年間の間で、蠶糸業恐慌期ではあつたが、それだけに現下增産に血みどろの農家と一種共通な實驗性を有つ農村經濟更生時代であつた。

かういふ經驗の私は、大映作品『風雪の春』を一種の角度より觀んとして觀、その底に流るゝ蠶糸業、否農業の倫理性に時局下思ひを及ぼさずにはをられなかつた。

而して、この映畫の有つ倫理性は、現下增産に苦鬪する農業、農村、農民の倫理であり、また廣く國民の倫理でもある。

勿論、一篇を主張するのは美しき抒情であらう。しかし、この美しい抒情詩が綴る素材は、今日的な問題として、農業生産力擴充が苦鬪する幾多の項、即ち人の動き＝農民と指導者、新しき技術＝科學的農業化、物の動き＝物の增減がもたらす明暗等の複雜な檢討をなしてゐるのである。この從來ならば企畫價値を疑はれる眞面目な素材と四つに取組んで、とも角もあの程度にこなせたのは、健全娛樂といひ、映畫の有つ國策性といひ、一應の成功ではあるまいか。

このことは、かうした面の映畫化に大きな希望を與へて、今後の企畫が期待されてよい。

さて、若き養蠶指導員が蠶繭確保に氣負ひ立つて、勞力節約育蠶法としての屋外條桑育、桑樹地力改善としての燒土法、協同作業の前進としての稚蠶共同飼育等の農村指導をひつさげての苦鬪と、學究的蠶絲研究所長が營利的製絲會社の志向と鬪ひつゝ、繰り水の蠶利研究、絹毛絲の研究、蠶蛹の研究を完成に導く過程は、何れも時局下農村指導者や農業技術者に高い鬪ひへの意氣を鼓舞する。而し

この若き尖兵の指導員と老ひを賴つ研究所長とが、互に因となり果となつて勵まし合つて前進して行く樣は正、反、合の辯證的止揚と異り、止揚は止揚であるが、日本的止揚である。しかもその間に潤澤として、日本家庭の倫理や、新しき日本女性の男性への觀方があり、一方研究所長を助ける助手群の協同研究の倫理あり、同窓の美しさもある【筆者は京城師範學校敎諭、春城寺農學會主幹】

不連續線
學閥

學閥といふことのやかましい會社で、若い彼は、入社したその日、もうそれが氣についた。

ポマードの男に聞かれた。

『あなたも慶應ですか』

『親父が慶應で、僕は明治です』

『ほゝう。この會社に明治とは珍しいですな』

その男が眼をみはつた。

『でもないでせう。僕は四十五年だから、卅二ですけど』

話をはぐらかしたことに、彼は、何か知ら痛快を覺えた。

〝音樂大進軍〟
新映評 東寶作品

☆……東寶作品『音樂大進軍』南方輸出向けとして作られたもの。國內版である。理解を容易にするため單純な物語を選び、日本固有の美しい風物を配した企業の狙ひに誤算はなく、テナー藤原義江、ピアノの和田肇、木琴の平岡養一、舞踊の藤田せい子等々一流人を總動員してふんだんに耳と目を樂しませる點、國情を異にする南方人にもと思ふが、渡邊邦男の演出は粗雜で感興的な美感が伴はない

☆……筋の明快なのは結構だが、題くするとこの稚拙さは映畫技術全體を疑はれまいか、山場の南方慰問音樂會をめぐる插話が模倣臭いのも氣になる、主演は古川綠波、渡邊篤だが、狂言廻しに使はれたやうなもの、他に星見鑾子、中村メイ子等が出演、なほ一寸ではあるが長谷川一夫、山田五十鈴も顏を出してゐる眼かな取合せで客受けだけは先づ大丈夫だらう

四五月の文化映畫

新作文化映畫の四、五月京城封切順序は次の如く決定した、(括弧內は製作社略名)

◇紅系 海の探究(理研)御民われ(日の本)東大寺(橫シネ)國力は國の力(部)騎砲兵(部)工兵魂(理研)

◇白系 積雲(獨ウファ)工場看護婦(協映社)棉花(朝日)鴨綠江ダム(日映)牛飼ふ村(部)鬪ふ發送船(藝映)

京日歌壇

ピルマ　加藤信一

夜をこめて谷間をこがす篝火にジヤングルの響どよめきやまず

敵會の時計聽きつつ小夜更けの眠れる町を巡りかへりぬ

つゝましくピルマアカシヤの白房はわが窓近く咲き匂ひ居り

仁川　砂田暁花

風はなほ身に沁むほどの寒なれど石垣の隙に青きもの見ゆ

藥翰の友の辭令の新聞をひとり寂しくいつまでも見る

【雜詠】四月廿日(火)締切

商業登記公告

一人必ず五十圓貯蓄
生活うんと切下げよう
十二億へ總進軍

今年度の貯蓄目標額は十二億圓に決定した、戰力增强の源泉は貯蓄である、決戰下の厖大な戰費も生産擴充の資金も銃後の貯蓄によつて生れるのだ、前年度目標額の九億から今年度は三割三分三厘餘上つて十二億の目標となつた、それだけ前年度より一層しまつて貯蓄へ驀進しなければならぬのだ まづ生活を切下げ貯蓄へ振り向けよう

去年は日本全鮮の國民の所得は四百五十億圓このうちから二百卅億が貯蓄に向けられ、税金その他に七十億合せて三百億が戰ふ日本のために強はれ百五十億で國民は暮らしてゐたのだ、だが今年度は五百億の所得とみてゐるから昨年度より五十億の增加となつたわけ、そのうち公債等へ二百十億、生産擴充の資金に六十億、合せて二百七十億これだけは是が非でも貯蓄して米英擊滅の砲彈へ魚雷へしなければ勝ち拔く今年度の態勢にならぬのだ

この他に税金等に百億を出すから三百七十億は飲んだり喰つたり出來ないのだ、從つて昨年は百五十億で暮らしてゐたものが今年度は百三十億で暮らすことになつたのだ、決戰の今年度は一割三分以上の生活切下げを斷行し勝つための生活態度を向上すべきである、生活が切り下げられればそれだけ彈丸が殖え軍艦が殖え勝利への道が拓けて行くわけである、だから決戰下の生活は切下げるほど向上していへるわけである、高價な着物を着たり喰つたり、結局飲んだりする者は下等な生活態度と非難されることになるのだ

遊興税が上つたり、酒税が上つたり、煙草が上つたりすることも衣類その他物品税が上つたりすることも料亭遊びや酒飲みが少くなることを要求してをるわけで少くなるほど貯蓄へ公債へ向けられる金が殖えて行き完勝態勢が整ふことになるのだ

さあ、今から二割も三割も生活を切り下げて行かう、今年度の貯蓄目標額十二億からみると半島に住む者は老人も子供も男も女も一人當り五十圓を貯蓄することになつてゐる、昨年は一人當卅八圓だつたから十二圓だけ多く貯蓄するわけである、陽氣な春に浮かれず、けふから貯蓄へ起ち上らう

愛國翁へ陸軍大臣の表彰
我になほ二兒あり
熱誠續く軍用米獻納

皇國に生を享けて征けぬ身の淋しさ、しかも既に齡老齡の域にあり身を挺して感恩報國のたゞずまひも叶はぬだが激しい戰爭が地平線の果で續けられてゐるとき自分は安穩な暮しを許されてゐる、何とかしてこの皇恩に報ひねばならぬ―と感激、昭和十三年の春小作米一萬石を軍用米として獻納を發願した半島の愛國翁黃海道鳳山郡舍人面月山里豪農金致龜氏の善行は當時軍部を感激させその麗しい至誠は半島二千四百萬の愛國の熱情に火を點じた、あれから五年、出來秋とともに翁の發願した年一千石宛の獻納は續けられ、その都度の感謝狀は今度は陸軍大臣の胸をうち晴れの表彰狀授與となり念願の半ばとはいへ輝く榮光を擔ふとともに翁の發願した決意の全貌が判り聽く人每の感激を呼んでゐる【寫眞＝愛國翁金致龜氏(上)と長男亨翼(右) 次男亨喆(左)の二兒】

ゐる、この善行は今回東條陸軍大臣をいたく感激させ翁の赤誠はまた報いられて表彰狀の下附となつた去る三日陸軍大臣代理として朝鮮軍倉茂報道部長は愛國部平井大尉を伴つて海州を訪れ府尹室において內田內務部長立會して晴れの授與式を行ひ感激あふれる翁はこゝに輝く譽を擔つたのであつた、表彰狀授與式に臨み五日歸任した倉茂報道部長は金致龜翁の善行を讃へて語る

話は五年前に遡ぼる―支那事變は逐日擴大して皇軍の戰果はあがり大東亞新秩序の逞しき建設譜は奏でられる、第一線將兵の勇戰と尊い護國の礎石に對して翁はもうおつとしてはゐられなかつた、身を一介の貧農に起しひたすら勤儉力行、朝は霜を踏み夕には星を頂いて土に挑んで增米殖産に身を粉にして働き一代で巨萬の富をなした質直一徹な陸天致富翁の一生を貫いた清純な氣持が許さなかつたのである、既に身は老齡してゐるが皇恩に報ずるは今日を措いてない、この殉國のしるしにまことに零細ではあるが、今年から向う十ケ年間自分の收穫米の中から優良米を選んで每年一千石宛一萬石を軍用米として獻納しよう、芋を食べ麥を嚙み草の根を食べていま戰つてゐる皇軍將兵に一粒の米でもよい私の氣持が通つてくれたら自分の喜びは、報恩のしるしは達するであらうと校に身を託して獻納趣意書を懷に朝鮮軍を訪ねたのは雪降る十三年十二月十九日だつた餘生幾許もない老翁の身に報恩のしるしとして零細ながら一萬石を獻米いたします、軍用米として受納して下さいと決心を書きこめた趣意書は胸を

た今日から年一千石宛を獻米すれば、私の齡が八十八の米壽に達した頃にはきつと一萬石になるでせう、しかし萬一私の露命が續かないときは私には長男、次男の二兒があります、この二人長男亨翼、次男亨喆が必ず〳〵代つて獻納いたします、翁の決意は同じ征けぬ身二兒に至誠の後事を託しての趣意書だつた、年還つて五年、每年師走の十九日には一千石の軍用米が獻納されその額早くも五千石に達し價格にして廿萬六千五百廿七圓八錢の巨額にのぼつてゐる、そして翁はなほ矍鑠たる元氣で念願の獻米を樂しみにして家事に…既に身を起した翁が今日の大をなすとともに愛國の熱意止みがたく報恩のしるしにと每年一千石の軍用米獻納を思ひ立ち老いの身故に遺志を愛兒に託してのこの至誠はわれ〳〵の胸をうたれるとともに感謝の念に耐へない、翁はまた教育方面にも理解深く小作人に對しても溫情深く慈父のやうに仰がれてゐる、いまや食糧增産の秋翁の尊き努力に倣つて眞の臣道に活き報國の熱意を沸らせて聖戰必勝に挺身されたい

教科書なしで授業
國民學校の決戰新學年

【大阪電話】御本はなくともアメリカ、イギリスの子供に決して負けませんと教科書なしで五日國民學校の授業がはじまつた、教科書が若し新學期に間に合はぬやうなことがあつてはと西日本、朝鮮、台灣國民學校の教科書を一手に引受けてゐる大阪書籍株式會社では昨年末より不眠不休の努力をつゞけて來たが資材勞力の關係上國民學校五、六年の歷史、地理、理科算術及び低學年の一部が遂に五日の授業開始に間に合はなかつたが十日すぎには印刷製本を完了、月末までには皆さんの御手許に屆くはずだと同社では語つてゐる

延禧專門學校合格者

◇商業科 金彌恩錫、李敏元、金本宰男、小林領兒、豐川忠一、松岡良平、武原光男、金顯奐、玄武孝胤、金川洸奎、安田鎔旭、金本東雄、金城哲彥、國邑國民、菊田圭昇、松井英雄、高山尙久、安田寅準、平申秀雄、月城茂夫、高山光根、永田淳鎬、朱本基湜、川谷直道、山田秀男、金善益、安田稔、宮本光先、松岡弘眞、河上補根、松岡相所、松山敏雨、金江鎔夫、長田仁洙、大川明鎮、西原弘吉、永田浩科、南筆、木村昌箏、金村文夫、松原文行、金純益、杏山榮茂、石川洋達、松山竄章、大田尙男、羅本在明、丘秉裕、正木毅、井村彦昭、金川光淳、岩本啓資、白川泰司、金山達雄、井本尙根、金本大溶、青海隣人、韓川永本、松田昌稲、淸水恩源、青松夏澤、白原台基、新井榮圭、平川照隆、大山光彥、西園平治、國友秀吸、丸山正秀、金田亨燮、重光一匯、宋佐彬、李源熙、新井盛煥、大原洞碧、美村聖秋、高山容夏、金澤義雄、本田榮男、金山元植、富田哲郎、金本忠博、松山昌永、李家相柱、中原文吉、伊東勝平、三城寅正、德山順雄、賀川時世、朴晃、金永培、完山龍男、慶城敏行、松江福城、金澤吉源、松山龍得、國城致相、廣川福男、松平仁雄、吉川洪錫、瑞田隆秀、張間忠正、靑松宏昌、南村紀父、木村鑒一、金本正明、平岡列、金村元圭、山本榮一、德江義夫、淸水正義、藤原錫、神農光雄、吉岡健次、伊東鍪男、千田邦彥、靑松仁植、松川貞華、金城浩一、山本宣大、金原昭、大山忠石

◇東亞科 金本忠吉、山村齋幸、金本觀總、金澤永雄、梁川正源、松岩明男、田原稷秀、靑山泰純、豐川延宰、田稔榮、森山康一、平沼寧熙、白原久丸、松岡浩一、延原成、山住鐘侯、安田勝彥、山本灘春、金城利宗、皐原圭禎、新井勝雄、桑林忠根、光原秀明、永田勝相、孫本永獲、高山光雄、東村平雄、金岡良治、夏山在鉉、西原文英、高山益和、山原哲雄、御宿英昭、松村正雄、黃村浩洲、瑞原五郎、福島光培、大山秀熙、松田吉平、大山元燮、石原秉燦、中野哲煥、金本桂元、淸原居項、檜山文秀、文平樋根、木村允聰、大山基元

捌く金屬の山
武官府へ荷造部隊殺到

獻納だ、金屬類の獻納だと每日銃後の赤誠は燃え拂り金屬の山が築かれて行く、この金屬類は魚雷、軍艦の分身となるため所定工場へ送られることになつてゐるが、この處分に海軍武官府では輛手古舞である所へ京城三越百貨店の青年隊では公休日の五日『月月金金です、我々も休めません』と、その荷造りに一役買つて午前九時から藤澤隊長の指揮下に廿名が武官府に出頭エッサ〳〵の掛聲も逞しく山と積まれてゐる銅、眞鍮、鐵の器物を片つ端から打毀し、既に入れ繩で結び片側へ積み重ねる、破片は左に右にとぶ、こみは立つ、だがこれも職場へ通ずる一役だと、その盟汗の奉仕は午後五時までつゞく なほ同日、元町青年隊二十四名も松元隊長に、新堂町青年隊十五名も青木隊長にそれぞれ引率されて、同勤勞奉仕をした【寫眞＝三越青年隊員の奉仕】

"水の接待"八年
馬の義人酒井さん

◇……ゴツクリと、目を細めて水を呑む荷馬の背へそつと手を當て〳〵覗きこんだ顏、どこから重い荷を運んで來たか馬は全身を汗して清冽の水槽にそのたてがみを打ちふるはせながらおいしさうに飲んでゐる

◇……〝もつと飲め〳〵〟馬の義人は一心にポンプを押して清水を送り出してやる

◇……〝馬に水を飲ませませう〟の幟を立てゝから八年間京城永樂町一ノ四一酒井市郎さん(五〇)は今日まで何萬頭の馬に水を與へて來たのだ、家の前に掘つた井戸へ自製でポンプや水槽を備へつけて『馬よ來い〳〵』と通る馬を呼び止めて手篤い水の接待にこの頃では馬の方が心得て馬子の案內も待たずに近づいて來るやうになつた、遠くで歌ふ子供達の愛馬行進曲が街の春風に乘つて流れて來る【寫眞＝酒井さんの情の水槽へ頭く荷馬の群】

さあ國民皆唱だ
職盟が率先して音樂鍊成會

健全な歌曲は國民生活に豐かな情操と明朗快活な元氣を與へる、大人も子供も明るく大いに歌ひまくつてやがて來る米英擊滅の勝鬨としようと國民總力朝鮮聯盟では國民皆唱運動に率先して五日から一週間に亘り每日午前十一時半から聯盟本部に波田總長以下職員一同を集め、音樂協會から平間文壽氏を招いて音樂鍊成會を行ふことになり五日の初日は午前十一時半から第一回鍊成會を開いた、平間氏の指導でまづ〝海行かば〟波田總長、鄕牛總務部長も歌集を手に熱心な歌唱ぶり、さらに發聲上の注意、呼吸の方法、歌曲の歌ひ方等懇切な解說があつて午後一時第一日を終つた

話題特急

☆……戰時事務は戰時態勢、簡易的處理へと總督府學務局編修課が實踐する新學期の明話―

☆……喰ふか喰はれるかの決戰だ、輸送もたまには遅れることもある、文部省編纂の國民學校五、六年生用の算數と國語の教科書の輸送が遅れて遂に新學期に間に合はなかつた、學務局はいざ戰時事務の實踐だとばかり早速遅延の教科書を菊判の半紙にタイプライターで內容を刷り臨時の教科書を作り上げ四月分の教材とするやうに各道學務課に送付した

☆……各道ではこれを手本に新教科書を作り學校に配布、ヨイコは利口、決して新しい教科書を欲しがりません、タイプ刷り半紙の御本で立派な成績をとります

高射砲彈の地上への危險性 【上】
空中で無數に分裂
味方の彈片我が上にも落下

內務技師 佐田昌夫

空襲警報が發せられたら地方によつては敵機が見えなくても高射砲が發射されることになつてゐる、高射砲に對する一般の認識を深めることは時局柄防空施設の完璧を期す上にまた肝要である、この意味において、防空火器の彈丸又はその彈片が、對空射擊後落下して地上に與へる影響に就いて、若干の考察を試みることにする

防空火器の口徑と性能

軍防空の本則は、可能なあらゆる火器を以つて敵機を擊墜するにあるであらうから、かゝる火器もこれを以つて對空射擊をすれば立派な防空火器に違ひないのであるが、狹義の防空火器として口徑一三粍級機關銃以上のものにつき、本文に關係ある要素を拾つてみると、その概略は次の如くである

種別	口徑	最大射高	一分間の發射彈數	彈丸重量	彈丸の初速
機關銃	一三粍級	四、〇〇〇乃至五、〇〇〇米	四〇〇乃至六〇〇	五〇瓦	毎秒八〇〇乃至九〇〇米
機關砲	二〇粍級	三、〇〇〇乃至五、〇〇〇米	一〇〇乃至二〇〇	一四〇乃至三〇〇瓦	〃 九〇〇米
	四〇粍級	四、〇〇〇乃至六、〇〇〇米	一〇〇	九〇〇乃至一、〇〇〇瓦	〃 八〇〇乃至九〇〇米
高射砲	七五粍級	八、〇〇〇乃至一一、〇〇〇米	二〇乃至二五	六・五瓩	〃 七五〇乃至八〇〇米
	一〇五粍級	一〇、〇〇〇乃至一二、〇〇〇米	一〇乃至一五	一四乃至一六瓩	〃 八〇〇乃至九〇〇米
	一二〇粍級	同右	一〇乃至一五	二三瓩	〃 八五〇米乃至九〇〇米

防空火器は、來襲機に對し彈丸を有効に集中し得る樣、要地には密かに配置せられてゐるであらうし、又火器は夫々直徑數粁以上の範圍に彈丸を送り出すことが出來、且つ彈丸中には後記の如く空中で破裂して多數の破片を更に相當範圍に投射するものが少くない故、大都市、工場地帶、軍事施設附近等に於ては如何なる部分もこれ等の彈丸又はその彈片が落下して來る可能性がある

彈丸落下の狀態

落下物の與へる影響力は、其の重量と、命中時の速度(これを着速と稱へる)とによつて强さが定まるから、先づ重量に就いて考へを進める、機關銃彈は概して、そのまゝ落ちて來るものと豫想せねばならぬ、機關砲彈は、特に大口徑のものは、概ね着發又は曳火信管を備へてゐる、着發信管付きのものは目標に命中せぬ場合にも、或る時間後には自ら破裂する裝置を備へ、高射砲彈は總て曳火信管を與へられるやうになつて來てゐるので、これ等の彈丸の殆どは空中に於て破裂するやうに調整されてあるので、これ等の彈丸の殼は粉塵狀のものより重量數百瓦のものに至る各種各樣の鐵片と化して飛散し落下する、但し信管機構の團は計算に入れれば、數瓩乃至十數瓩に及ぶ高射砲彈がそのまゝ落下して來ることも絶無とは言ひ難い

尖銳彈と環層彈

彈殼の破裂によつて生ずる彈片は重量の大なる數量的比率において、極めて著しくその發生比率が少くなる、例へば、高射砲彈には、尖銳彈、環層彈等の種類がありいづれも榴彈であるが、後者には發生する彈片を成るべく有効な大きさに揃へる目的で一定幅の環層狀に刻目が彈殼に刻まれてゐて從つて徒らに大きすぎる彈片は發生し難く、又その環層間に包含されてゐる彈子も重量は十瓦を越えないやうである、一方比較的大形の彈片を生ずる尖銳彈においても、五十瓦以上の彈片はその數が、總彈片數(粉碎化したものを除き數百個)の數パーセント、廿瓦以上のものでも十數パーセント程度であり、百瓦を越えるものは僅に彈底の特殊部分である重量數百瓦のもの一箇程度にすぎないであらう、彈片の形狀は一般に鋭利な稜邊を有する不規則な矩形狀を呈する

彈丸、彈片の落下速度

次に、これ等彈丸又は彈片の落下速度の問題であるが、炸裂せぬ彈丸及び炸裂して水平方向よりも上方へ飛び出した彈片は、上向きの速度がなくなると共に落下を始める、この落下運動に於て重力の作用により次第に落速を增すが、速度の自乘に比例すると看做されてゐる空氣抵抗があるために或る限度以上には速くなり得ない、この限度が極限速度と稱せられるものである、炸裂して水平方向より下方に投射された彈片は、最初は恐るべき速度で地表に突進する、彈片は炸裂に際し、毎秒千米程度の初速を與へられるらしいから、極めて低空で炸裂した場合(かゝることは殆どあるまいが)に於ての威力は破片彈のそれに等しいのであるが、これも落下してゆくにつれて、速度が猛烈なだけに、空氣抵抗も極めて巨大であるために、急速に速度が低下して、極限速度に近づいてゆく

極限速度に達する場合

各種彈片につき、その極限速度、地表に向ひ鉛直に落下し始めた場合その落速が極限速度に近い値となる迄に落下する距離及び地表に向ひ鉛直に毎秒千米の初速を以つて落下した場合その落速が極限速度に近い値となる迄に落下する距離に關し、極めて概略の推定値を次表に掲げてある、尙彈丸又は彈片が落下する場合、その最初の先端を常に先端として、一定の形で落ちずして、概ね同等かの回轉をしつゝ落ちるのであるが、表中の數値はこの影響を考へに入れずして推定したものであるから、一般に過大の値を示してゐるであらう、表より想像される如く、各種彈丸及び彈片は一般に地表に達する際は殆ど極限速度になつてゐると考へて大過なからう

種別	重量	極限速度	自由落下する場合の落速が極限速度の九五%に達する迄に落下する距離	毎秒一〇〇〇米の初速が極限速度の一〇五%に低下する迄に落下する距離
彈片	二五瓦	毎秒五〇米	三〇〇米	一、一〇〇米
	五〇瓦	同 六〇米	四三〇米	一、五〇〇米
一三粍級機關銃彈	五〇瓦	同 八〇米	七六〇米	
二〇粍級機關砲彈	一八〇瓦	同一〇〇米	一、二〇〇米	
四〇粍級 同	九二〇瓦	同一一〇米	一、四〇〇米	
七五粍級高射砲彈	六・五瓩	同一六〇米	三、〇〇〇米	
一〇五粍級 同	一六瓩	同一八〇米	三、八〇〇米	
一二〇粍級 同	二三瓩	同	同	

夕刊 京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社 京城日報社
編輯 印刷 發行人 高仲宮太郎 平福

訪滿の要務を果して 東條首相京城を訪問
きのふ總督と要談

滿洲國訪問の要務を無事終つた東條首相兼陸相は歸國の途、天候の都合により俄に豫定を變更して朝鮮經由歸京することゝなり四日午前九時五十分京城驛着特別列車『のぞみ』で來城した東條首相兼陸相は、佐藤陸軍省軍務局長以下赤松、廣岡、服部三大佐、高崎、小島兩中佐、大東亞省吉田事務官らの隨員を帶同して颯爽と下車、驛ホームで出迎への小磯總督、田中政務總監、井原朝鮮軍參謀長以下多數官民要人と挨拶を交したのち、直ちに總督府差廻しの自動車で朝鮮ホテルに入り貴賓室に落着き、約一時間に亘り人をさけて小磯總督と會談したのち別項の如く談話を發表更に總督及び田中政務總監と和かな歡談に時を過し、午餐を共にした、かくて國務多端の東條首相兼陸相は席暖まる暇もなく午後一時十五分朝鮮ホテル發自動車で京城飛行場に向ひ小磯總督、田中政務總監、井原參謀長以下多數の見送りを受け一時四十五分機上の人となり滿城僅か四時間に南鮮經由歸京の途についた

半島に宰相を迎ふ
これぞ始政以來の嚆矢

多端な國務の寸暇を割いて滿洲國を訪問、帝室の御機嫌を奉伺し、飛躍的な國運の隆昌を慶祝しまた大東亞戰への全面的協力に感謝し併せて現地機關の状況聽取のため訪滿した東條首相は歸途を天候の都合で朝鮮路にとつた

四日南行の特別列車『のぞみ』の車窓に半島の朝を迎へたのは沙里院驛附近、既に濡れ青く生氣に芽ぐむ山野の風物がものみな戰ひ飛躍する半島の現狀を象徴するかのやうだ、この颯爽たる首相の總督を應接すれば疲れも見せぬ首相は興深く移り還る窓外に強い印象を投げかけるのだつた、開城まで出迎へた江口警務局長、丹下警務局長、高京畿道知事、原田同警察部長、それに隨員の佐藤陸軍省軍務局長はじめ赤松、廣岡、服部三大佐、高崎、小島兩中佐、大東亞省吉田事務官らを隨へ、金鵄の勳章を帶び軍裝に元氣一杯の姿で京城驛に降り立つたのが午前九時五十五分

驛ホームに小磯總督、田中政務總監、總督府各局長、軍部からは井原參謀長はじめ各幕僚、京城師團司令部參謀長、海軍武官府松本大佐ら[illegible]、京城憲兵隊長ら[illegible]をもつて迎へれば、溫顏を綻ばせて會釋しながら松岡驛長の先導で貴賓室に入り小磯總督以下と挨拶を交した

半島始政以來三十四年、宰相の身を以て半島に足を印したのは初めてのことである、愛國の至誠の大東亞戰完遂へ米英擊滅の熱情の標として逞しく銃後を護り續ける半島の姿を首相の眼に映し得たび溢れる奇縁の日である

挨拶を交した首相は直ちに府差し廻しの自動車で少憩のため隨員とともに朝鮮ホテルに入り別掲の如き朝鮮に立寄り半島の[illegible]に觸れ得た談話を發表した

×　×

首相と隨員のために當てられたホテルの部屋は貴賓室第一、三號、ホテルの鄭重な心盡しの飾、山茶花、ヒヤシンス、海棠の植が飾られ床しい香りを放つてゐる、午前十時十分くつろぐ間もなく紅茶の一杯をすゝり小磯總督と[illegible]

小磯總督と會談の東條首相 朝鮮ホテルにて（寫眞上）
機上の人となる東條首相（寫眞下）

昨夕福岡歸着

【東京電話】東條首相は[illegible]

情報局發表

前九時五十五分京城着[illegible]情報局より左の如く發表[illegible]

けふ歸京

豫定の日程を終り本日午[illegible]

首相の慈顔明るく
沿道の歡迎に應ふ

[illegible]あつた[illegible]輛、自動車に續い[illegible]は太平通から南[illegible]岡崎町、練兵町、[illegible]に居並ぶ見送りの[illegible]服の半島婦人が十[illegible]年をつれてゐるの

が首相の自動車と見て二人揃つて腰を深く折り謹嚴な敬禮を贈る、車窓に垣間見る東條首相の姿は沿道の人々に熱く灼きつく印象と感激を呼んだのだつた

陽炎もえる京城飛行場に着いたのが午後一時卅七分、そこには首相、隨員の搭乘機が早くも爆音を轟かせて萬全の出發準備を整へてある

×　×

盡きぬ話題、惜しき名殘り——願はれて異ひたい半島の實情あれこれ……一旦飛行場貴賓室に入つて小磯總督、田中政務總監らとの歡談はなほも續けられた、出發用意は完了した、滑走路西側に小磯總督田中總監以下各局長、南側に井原軍參謀長以下各幕僚立列して見送れば佐藤軍務局長以下隨員を隨へて溫かき袂別の挨拶を交し首相は身輕く機上の人となり同一時四十五分爆音を轟立て離陸、半島を機上から縱斷一路歸東の途についた

完勝へ健鬪を要望
戰力增强に感謝す

首相談話發表

四日寄城した東條首相兼陸相は朝鮮ホテルに落ちついたのち次の如く談話を發表二千四百萬半島同胞今後倍々決意を新に大東亞戰爭完勝のため健鬪すべきことを要望した

◇◇

今回滿洲國訪問の歸途天候の都合によりはからずも新京から飛路京城に立寄ることが出來たのである、沿線の風物に觸れ、また總督閣下をはじめ關係當局より文字通りあらゆる困難と隘路を突破、ひたすら戰力の增强に邁進しつゝある同胞の近況を承りその並々ならぬ御苦勞と粘り強き御努力とに思ひを致し私は衷心より敬意と謝意を表するものである、旅程の關係上當地においては何等の行事の餘裕なきを遺憾とするが、この機會において同胞諸君のこの上とも大東亞戰爭完勝のため御敢鬪の程祈つて止まない次第である

戰拔く抱負に敬服
食糧問題も心配無用

小磯總督談

小磯總督は朝鮮ホテル貴賓室に於て東條首相と約一時間十五分にわたり要談したのち別室で記者團と會見、次の如く語つた

總理には御迷惑だつたが總理の下車をお迎へすることが出來たのは幸ひであつた、お蔭で朝鮮統理一般の状況も説明する機會を得、總理の安心を願ひ得た、なほお目にかゝつた機會に大東亞戰爭を見事に勝拔くため時局を打開克服すべき抱負經綸の一端も伺ひ得て非常な心強さを自覺し愈々盤石の安きを自覺信念しつゝ、協力邁進すべきことの要切なる所以を承知し得たことを欣快とする、朝鮮の食糧事情についてもお話したが、朝鮮をして饑ゑさせぬため內地からも近くいくらか米が送られて來る筈であるし、また滿洲國からの雜穀の輸入も、總理が今回滿洲國を訪問された機會に滿洲當局を鞭撻され、お蔭で最近新穀輸入が頗る圓滑化してゐることを感謝する次第である

反樞軸食糧會議を開催
米、卅八ケ國政府に招請狀

【ブエノスアイレス四日同盟】ワシントン來電＝米國政府は四月廿七日から反樞軸食糧會議を開催するに決定、卅八ケ國政府を會議に招集したが、會議地はバージニヤ州ホツトスプリングスに決定した旨四日發表した、すでに英ソ兩國をはじめ十ケ國政府が招請を受諾したといはれるが、代表總數は四十三名に及ぶ見込みである

すでにソ聯、英國および重慶政權などをはじめ十ケ國が米國の招請を受諾したが、特にソ聯が出席を受諾したことは欣快に堪へぬ

ソ聯の受諾に ハルのお世辭

【ブエノスアイレス三日同盟】米國政府は四月下旬反樞軸食糧會議を開催すべく關係卅八ケ國に招請狀を發したが、ワシントン來電によれば國務長官ハルは三日と米ソ關係の不調には口を拭つてお世辭を並べたといはれる

元駐ソ米大使『赤色帝國主義』誹謗

【ブエノスアイレス三日同盟】ワシントン來電＝元駐ソ米國大使ジヨセフ・デービスはライフ誌の最近號にソ聯に關する一文を寄せいはゆる『赤色帝國主義』について次の如く述べたと傳へられる

反樞軸國が勝利を收めた曉、ソ聯が沿バルト三國をはじめ舊ポーランド領東半分およびベツサラビヤに對しソ聯の安全保障の見地からその領有を主張する

愈々大攻勢開始か
東部戰線の獨軍活潑

【ストツクホルム四日同盟】獨軍筋ではイジユーム、イルメン湖南部ならびにクバン河地區における獨軍の作戰がその後も順調な進捗を見、これをもつて東部戰線における獨軍の主導權はいよ〳〵强化さるるに至つた旨言明してゐるが、東部戰線からの報道を綜合するに、東部戰線西南部地區における獨軍の大攻勢開始の時期はいよ〳〵切迫して來た模樣で、ロイター通信社のモスコー特派員は赤軍筋の情報として

獨軍は南部地區において新しい大攻勢を展開するため急速に大部隊を集結してゐる、ウクライナから歸還したプラウダ紙特派員の報道も獨軍の大部隊が續々西南部戰線に移動してゐる旨を傳へてゐる

と述べてゐる一方モスコー各紙も切迫する獨軍の攻勢を豫想し四日の各紙は一齊に獨軍の脅威を强調するとゝもに

國民は獨軍の新攻勢を十分覺悟してゐなければならない、獨軍の新攻勢は赤軍の戰力の最大限度の發揮を要求するであらう

と警告してゐるほどである

隨所に赤軍を擊破

【ベルリン四日同盟】獨軍筋では東部戰線の戰況について四日次の如く言明した

東部戰線に於ける戰局は目下次の三地區に集中されてゐる、すなはち

一、イジユーム地區の獨軍は數次にわたる猛攻によつて赤軍に決定的打擊を與へて作戰は成功裡に完了、ドネツ河戰線に於ける赤軍有力陣地の二つのうちの一つを完全に制壓した

一、イルメン湖南方地區の獨軍は赤軍を東方に驅逐した

一、クバン河地區に於ける獨羅同盟軍は赤軍の猛烈な攻擊を喰ひ止める一方敵の獨軍陣地突破作戰を挫折せしめてゐる

以上の地區に於ける態勢は東部戰線の獨軍が戰局の主導權を完全に掌握してゐる事實を立證してゐる

右三地區の戰鬪は特に熾烈であつて、一地點では獨軍は赤軍狙擊師團一ケ師を殲滅し、ミウス河戰線における一地區では獨軍突擊隊はさらに前進を續け赤軍の陣地多數を破壞、ドネツ河中流地區の獨軍は有力な空軍の掩護の下に二日にわたり赤軍と激戰を展開したのち、イジユーム地區に於いてドネツ河を强行渡河し對岸の赤軍に對し重壓を加へこの戰鬪に於いて獨軍は敵戰車七台を擊破した

一、赤軍は過去數日來ラドガ河の輸送路を再開し、舟艇ならびに碎氷船をもつて軍需物資の補給をはかつてゐるが、獨空軍はこれに猛攻を加へ舟艇數隻を擊沈するとゝもに碎氷船一隻を擱坐させた

赤軍損害甚大

【ベルリン四日同盟】總統大本營は四日公報をもつて次の通り發表した

一、東部戰線ではクバン橋頭堡、イルメン湖南方ならびにレニングラード戰線に於ける赤軍の反復攻擊はいづれも擊退され、敵は甚大な損害を蒙つた、その他の戰線は極めて平靜で、イジユーム地區で僅かに局地的戰鬪が行はれたに過ぎない

一、チユニジヤ戰線でも特に重要な戰鬪は行はれなかつたが中南部の數地區では活潑な戰鬪が行はれた

一、三日夜英空軍爆擊機隊は西部地區數箇所に來襲したが獨軍はそのうち十九台を擊墜した、さらに地中海、西歐沿岸地帶およびノルウエー海岸沖で敵飛行機八台を擊墜した

獨機、英本土爆擊

【ベルリン三日同盟】獨快速爆擊機隊は三日午後英本土南岸のイーストバーンを低空飛行で奇襲、兵舍、軍需品倉庫などに巨彈を浴びせ、食糧貯藏庫、漁業施設、公共建築物などに機銃掃射を加へた

ことは必至である、それだけに止らずソ聯はさらに太平洋および地中海への出口を要求するであらう、ダーダネルス海峽はソ聯が傳統的に最も重大な關心を拂つてゐる問題であることを忘れてはあらぬ

イーデン空しく歸國

【リスボン四日同盟】ロンドン來電＝英外相イーデンは前後三週間にわたる米、加兩國訪問の旅程を終へて四日午後米國大使ワイナントと同道空路ロンドンに歸還し、歸還と同時に同外相は官邸に首相チヤーチルを訪問し會談を遂げた近く下院に於いて米國訪問の結果について報告する豫定である

北阿樞軸軍振ふ
數日中に大作戰開始

【ベルリン三日同盟】獨軍筋の言明によればチユニジヤ反樞軸軍の動きは三日南北兩戰線ともすこぶる不活潑で攻擊力は著しく鈍化したと傳へられる

同地方はこゝ數日來特有の豪雨が降り續き道路は泥濘と化した上反樞軸軍は數日來の攻擊において莫大な損傷を被り目下態勢の整備に忙殺されてゐるので、こゝ數日間は大規模な作戰を開始する模樣は見られない、モントゴメリーは戰車師團三を含む七ケ師團をエル・ハンマ、ガベの北方を結ぶ線の右翼に集結し、一方米軍はエル・ゲツタール、マクナツシー間に展開してゐるが、主力はフエイド西方に攻勢を企圖するもののやうである

これに對し樞軸軍は惡天候と劣勢を顧みず攻擊を敢行し反樞軸陣地の各所に突入、ウードレフ地區では獨軍突擊部隊は英兵百名を俘虜とし捕虜四十五名を得た、また他の部隊はエル・ゲツタール東南において堅固な米軍陣地を奪取、マグナツシー近郊の山岳地帶では重要な戰略地點を占領、米軍に多大の損害を與へ捕虜三百を得た、デジヤル・ベルダの丘陵地帶では獨突擊隊は佛軍の偵察部隊を奇襲し、その大部分を捕虜とした

獨空軍もこれに呼應し急降下爆擊機および戰鬪機はウードレフエル・ゲツタールの敵陣地、特に砲兵陣地を爆擊、貨物自動車百以上を破壞もしくは炎上せしめたる一方英空軍部隊はスフアツクスの獨軍飛行場に來襲したが、獨戰鬪機隊はうち二機を擊墜した

イラン北部に戒嚴令

【ベルリン四日同盟】テヘラン放送によれば赤軍は遂にイラン北部アゼルバイジヤン地方一帶に戒嚴令を布いたと傳へられる

反樞軸空軍 パリを盲爆

【パリ四日同盟】占領地帶駐屯ドイツ軍當局は四日夜次の通り言明した

アメリカ、イギリス兩國の航空部隊は四日正午ごろ西ヨーロツパの占領地帶に對しさらに盲爆を加へたがパリ市の上空に飛來したアメリカ空軍は上空からはつきり目擊出來たにも拘らず住宅地區に爆彈を投下し住宅數棟を破壞百餘名の死者を出した、なほフランス北岸における空中戰でドイツ空軍は反樞軸空軍の四發爆擊機少くとも七台を擊墜し、さらに多數の戰鬪機を擊墜した

對獨協調促進
ラバール首相具體案を明示

【ビシー三日同盟】ラバール首相は三日の國務會議の席上パリにおける獨側代表との折衝の結果に基き對獨協調促進の具體案に關し詳細な報告を行つたが、閣議散會後

エも改造され各種口徑の高射砲を裝備した特務艦艦として港內に控へてゐると傳へられる

英有力艦隊 ジ港に集結

【ストツクホルム三日同盟】スカンヂナビスカ通信社のアルヘシラス電報によれば目下イギリス主力艦ロドネー、ネルソンならびにマラヤ、空母フオーミダブルのほか驅逐艦三隻、巡洋艦一隻、驅逐艦コルベツトならびに決戰艦ジブラルタル軍港內に集結、さらにフランス巡洋艦クレ[illegible]

叛逆分子を國外追放

【ビシー四日同盟】フランス政府は四日官報をもつて前アンカラ駐剳フランス大使ルネ・マシグリ、前大藏省外國爲替局長クーブ・ド・ムービーユ兩人が反政府運動に加擔した廉をもつて國外に追放した旨發表した

ダラディエ等を軟禁

【ベルリン四日同盟】フランス元首相ダラディエ、ブルームならびに元佛軍總司令官ガムラン將軍などは反樞軸軍の叛亂計畫に利用される虞ありとドイツ政府はフランス政府と協議の結果、右三名をドイツ本國に引取り監禁するに決定した

フランス人勞働者がドイツに送られた、そのうち七萬七千は勞務動員によつて徵用された青年である、徵用勞務者は一部ドイツに送られたほか現在フランス國內の各工場に服務するか、鐵道その他輸送機關の整備に當つてゐる、政府は農業增產が刻下の急務なる事實にかんがみ農業部門における勞働動員に際し十六歲以上六十歲までの男子全部を徵用することに決定した、同時に可耕地に對し一律に强制耕作を實施する方針である

次の如く言明した
本年一月一日より三月三十一日にわたる三ケ月に約二十五萬の

消息

◇澁谷禮治氏（東亞貿易專務）五日『あかつき』で歸城
◇木村誠一氏（京城鐵道病院長）同上
◇青山彥九郎氏（日本高周波取締役）同上
◇早瀨十助氏（朝鮮演藝文化協會理事）同上
◇大野季央氏（慶南知事）知事會議出席のため五日入城朝鮮ホテル
[illegible]氏（慶北知事）同上
[illegible]氏（忠南知事）同上
[illegible]氏（江原道知事）同上
[illegible]氏（咸南知事）同上
[illegible]氏（咸北知事）同上
[illegible]氏（黃海道知事）五日